

平成29年度 第3学年 後期授業アンケート 分析表

現代文B	授業の難易度や進度については、ほとんどの生徒の実態に即している。グループ学習や発表などの実践も、受験をにらみつつも効果的に取り入れることで生徒の意欲をひきだすことにつながっている。様々な文章に触れることにより、多くの生徒の意欲を引き出すような実践を心掛けたい。
古典B	現代文同様、授業の難易度や進度についてはほとんどの生徒が満足している。授業へ取り組む姿勢も概ね良好だが、授業への集中だけでなく、家庭学習によって得られる基礎基本の力が必要とされることを理解させ、個々人の実践につながるような工夫を行っていききたい。
世界史B	近現代史を中心に激動する国際社会の形成について学習した。ほとんどの生徒が授業に興味を示し、関心が高まったと回答。今後も「分かりやすい授業作り」を鋭意進めるため、日々の教材研究や全国大会への積極的な参加。担当者同士の切磋琢磨に力を注いでいきたい。
日本史B	大部分の生徒が進度やわかりやすさについて肯定的な回答であったが、授業進度をかなり速めたことで理解度や興味関心等を高めきれなかった部分も多い。基礎基本の充実とともに、日本史全般に対する興味関心を高めることで家庭での自学自習を促していききたい。
地理B	世界の諸地域に関する地誌的考察を中心に学習を進めた。系統地理的考察との繋がりや地理的な分布や傾向について学習を深め、地理的な考え方や思考力を高めるよう工夫した。授業の進度や難易度、深まりについての回答状況が前期よりも良くなっている。
政治・経済	難民問題や国際貿易等、国内外の時事問題にリンクした授業を展開したため、生徒は授業に集中して取り組めており、授業の難易度もちょうど良いと回答している。引き続き、知識の定着にとどまらず、既有知識を使って課題解決にむけて協議・討論するような授業に取り組みたい。
数学Ⅲ	授業の難易度、進度とも生徒の実態に合っている。生徒は概ね意欲的に取り組んでいる。内容の理解に苦労している生徒には、家庭学習と授業を有機的に連携させるよう指導することで、授業の理解を高めさせたい。
発展数学ⅠAⅡBα(文系)	授業の難易度、進度とも生徒の実態に合っている。授業中の取組の姿勢は概ね良好だが、予習や復習という点には、やや不十分さが見られる。適宜グループ学習を取り入れながら、今後も基本を押さえ、わかりやすい解説を行っていく。
発展数学ⅠAⅡBβ(文系)	授業の難易度、進度とも生徒の実態に即しており、授業中の取組の姿勢は概ね良好だが、予習や復習という点には、やや不十分さが見られる。2クラス3展開の少人数(習熟度別)授業の効果もあったと思う。今後も基本を押さえ、わかりやすい解説を行っていく。
発展数学ⅠAⅡBⅢ(理系)	授業の難易度、進度とも適正であり、生徒たちも概ね理解に努めている。既習事項のまとめとしての問題演習が多く、グループ活動を行う機会は設けにくい、グループ活動によって理解が高まるという生徒も多く、内容によっては機会を増やしたい。
物理	進学後の専門科目になる生徒もおおり、興味や意欲を持って取り組む生徒が多い。知識が身につけてきてグループ学習にも深まりがみられるようになってきた。今後も質の高い教材を用いて思考力を高めていきたい。
化学	実験などの生徒が主体的に参加し、体験する学習を取り入れた成果もあり、科目に対する興味関心は、良好な意見が多かった。授業に対する理解度も良好な反応ではあるが、授業進度が遅れる傾向があり、復習による学習内容の定着が十分とは言えない状況を改善していく必要性を感じる。
実践化学基礎	授業の難易度やスピードについてはほとんどの生徒が満足しており、前期より評価も上がっている。しかし、グループ学習や発表などの実践は十分と言えない。生徒の関心や意欲についても積極派と消極派に分かれる傾向がみられる。より多くの生徒の意欲を引き出すような実践を心掛けたい。
生物	生徒の意欲、授業の進度・レベルなどは比較的良好な意見が多かった。多くの生徒が授業に集中して取り組んでいる。今後は実験などを出来るだけ多く実施しながら先端の内容を含め、高度な内容を扱う授業も心掛けたい。
実践生物基礎	多くの生徒が、授業を集中して取り組み理解を進めていることがわかる。あまり実施できていないグループ学習なども機会をとらえて実施していくなど、より授業を工夫していききたい。
実践地学基礎	興味や意欲を持って取り組む生徒が多い。知識が身につけてきてグループ学習にも深まりがみられるようになってきた。今後も質の高い教材を用いて思考力を高めていきたい。
コミュニケーション英語Ⅲ	受験が間近に迫ってきたこともあってか、前期よりも高水準になった質問項目が見受けられる(例:「授業を受けて科目への興味・関心が高くなったか」)。入試を意識した授業となっている中にもペア活動等を取り入れており、生徒の意欲もより高まっているようである。
英語表現Ⅱ	コミュニケーション英語と同じく、生徒が英作文を中心とした演習に対して意欲的に取り組んでいることがうかがえる。「復習を十分に行っているか」という問いに対し90%以上の生徒が「行っている」と答えており、前期に比べてより復習の重要性を認識しているようである。
保健体育	後期で男女共修選択制授業を実施した。これまでの取り組みを基本に、リーダーが中心となりメンバーと協力し合いながら、活発な生徒主体の取り組みをみることができた。技能向上の楽しさを味わいながら、卒業後の生涯体育につながる力を身に付けることができたと感じる。

平成29年度 第2学年 後期授業アンケート 分析表

現代文B	前期に引き続き、多くの生徒が熱心に取り組んでいる。文章を深く理解し、自分の言葉で表現し合う活動を通して、人の在り方や世の中の様々な事象についての着眼点を学んでいる。今後も、言葉一つ一つにこだわり、さらに深い思考や表現ができるように指導していきたい。
古典B	前期に引き続き、多くの生徒が予習や復習に励んでおり、読解力が高まりつつある。多読や精読を通して、時代背景や当時の風習等についても学ぶことで、古典を学ぶ楽しさと意義を実感している。さらに学習の質を高め、教養のある人間として成長できるように指導していきたい。
世界史A	前期に引き続き、授業に対する姿勢は概ね良好であり、授業内容・難易度などについても良好な回答が見られた。授業の深さ、興味関心の高さなどで改善が見られたが、まだ改善する余地はある。教材研究をさらに重ね、生徒が興味関心を持って臨める授業に努めたい。
世界史B	前期に引き続き、授業に対する姿勢は良好であり、授業の難易度・わかりやすさについても肯定的な回答が多かった。一方、授業内容と進度のバランスを考え、さらなる改善が必要である。今後も生徒の興味関心を喚起する授業となるよう、教材研究や授業方法を工夫していきたい。
日本史A	前期に引き続き、授業の内容・進度・難易度などに対してはある程度満足をしているという結果であった。A科目という特性上、歴史そのものの魅力を伝えることと同時に、歴史的事象についての思考や資料活用などの技能・表現法などを高めていく授業を意識していきたい。
日本史B	前期同様、授業に対する姿勢は概ね良好であり、授業の難易度・進度などは適切であるという回答が多かった。一方、授業の深さや興味関心の高まりといった面では改善が見られたものの今後とも更なる改善が必要であり、教員一同授業研究を重ねて、生徒の学習意欲を高めていきたい。
地理A	前期同様、授業の進度や難易度の面では概ね肯定的な評価であった。しかし、興味・関心を引き出す点で、まだ改善の余地がある。少人数での授業であるため、グループ学習をはじめ教材の精選や教授法など、さらに工夫・改善していきたい。
地理B	昨年や本年度前期に比べ、授業のわかりやすさ・進度などは肯定的な意見多くみられた。授業内容についての理解がさらに深まるよう、今後もさらに生徒たちの知的好奇心に応える授業づくりに努めていきたいと思う。
倫理	「精神」・「理性」等、哲学特有の抽象的な言葉が多いが、生徒は、授業を通して自分の生き方の方を意識しながら学習に取り組んでいることが伺える。引き続き、学習に対する意欲関心が高まるような授業展開に努めたい。
数学Ⅱ	授業の集中力、進度、難易度について肯定的な生徒が多い一方、予習・復習にいつも取り組む生徒の割合は少し減少している。丁寧な指導は必要だが、予習・復習を前提とした授業が改めて必要になっている。課題提出を含め、必要な指導を徹底する。
数学B	授業の集中力、進度、難易度について肯定的な生徒が多い一方、予習・復習にいつも取り組む生徒の割合は少し減少している。丁寧な指導は必要だが、予習・復習を前提とした授業が改めて必要になっている。課題提出を含め、必要な指導を徹底する。
物理	進度、難易度ともに生徒が肯定的な生徒が多い。わかりにくいと回答している生徒には、まず、予習・復習を促したい。難しくてもじっくりと考えることができる思考力を育成することも必要であり、実験や観察等を工夫し、関心が高まるような授業展開をしていきたい。
化学基礎	概ね良好な評価であった。現段階で、学習内容の定着に不安を感じる生徒もいるが、今後の授業が進む中で既習内容を振り返り、復習や演習に取り組む中で理解度を高めていくような展開を心掛けたい。実験を多く取り入れ、化学に対する興味関心・学習意欲の向上につなげたい。
化学	生徒の意欲関心を高めるための実験や演習を多く取り入れたことで、学習内容の理解、化学への興味関心の向上に結びついている様子がうかがえた。今後は、家庭学習の重要性を再確認し、予習復習と合わせて取り組めるよう指導を続けたい。
生物	多くの生徒が、授業を集中して取り組み理解を進めていることがわかる。あまり実施できていないグループ学習なども機会をとらえて実施していくなど、より授業を工夫していきたい。
実践 生物基礎	進度、難易度ともに多くの生徒が肯定的にとらえている。実験なども多く取り入れながら、知識問題から思考力を問う問題へと、生徒自身がレベルアップを実感しながら学習を進めていけるような授業展開をしていきたい。
地学基礎	進度、難易度ともに多くの生徒が肯定的に回答している。今後もグループ学習や探究活動を進度に合わせて実施し、生徒の理解が進むようにしたい。また、地学は自然災害や防災など生活に直結した科目であるので、身近な話題も取り入れながら授業を進めていきたい。
コミュニケーション英語Ⅱ	ほぼすべてで英語で授業を行い、ペアワークを中心としたコミュニケーション活動に多くの生徒が意欲的に取り組んでいる。また大学受験を意識して自主的に長文読解に取り組む生徒も増えてきている。

英語表現Ⅱ	ほぼすべて英語で授業を行い、多くの生徒が前向きに英語での表現活動に取り組んでいる。ペアワークを中心としたディスカッションやディベート活動の後、グループでプレゼンテーションやエッセイライティングなど仕上げの活動を行っている。様々な語彙や構文を使いこなし、よりわかりやすく高度な表現ができるよう、さらに効果的な指導を心がけたい。
保健体育	前期の後半より選択制授業を実施し、班員と協力しながら行うグループ学習が充実したものとなってきている。体力面では若干の課題はあるものの、学習に対する意欲、技能は向上しているようである。3年生の男女共修選択制授業に向けてのよい準備期間にしていきたい。

平成29年度 第1学年 後期授業アンケート 分析表

国語総合 (現代文)	授業への取り組み状況は概ね良好である。授業の難易度、進度、説明の仕方についての設問に対しても妥当だとする回答を多く得た。今後更に力をつけていくために、難易度を少し上げた文章も読むなど、生徒の状況をよく見ながら指導の内容やレベルを調整していきたい。
国語総合 (古典)	多くの項目で前期より数値が良くなっており、全般的に学習に対する取り組みは良好だと言える。協同学習形態導入もその一因だと思われる。予習についても概ね習慣化しつつあるようだ。古典の世界をより楽しめるよう、授業の展開やしかけについて常に工夫していきたい。
現代社会	多くの生徒が授業に集中して取り組めており、授業の難易度もちょうど良いと回答している。グループ学習を取り入れることで、学習に対する意欲が高まっている。学習した内容を実生活とリンクさせた形で制度や用語を理解できるような授業展開が引き続き必要である。
数学Ⅰ	生徒の授業の集中力や予習・復習の取組み、授業進度は概ね良好である。理解度がやや不安な生徒が見受けられるが、折を見て数学Ⅰの復習を継続して指導したい。今後は数学Ⅱになり、さらに難易度が増すため、予習を前提とした授業を行いつつ、丁寧な指導を心掛けたい。
数学A	生徒の授業の集中力や予習・復習の取組み、授業進度は概ね良好である。単位数が少ないため理解に不安を抱えている生徒が見受けられるが、再度予習・復習の徹底を促したい。時にグループ学習や課題学習を取り入れ、基礎から応用へ丁寧な指導を心掛けたい。
物理基礎	授業の難易度について5割近くの生徒が難しいと答えているが、7割の生徒が授業のポイントが的確である、物理基礎への関心が高まったと答えている。これは生徒が授業で物理を考察し主体的に学ぼうとしていることを示唆している。今後も「考える」授業を展開していきたい。
生物基礎	多くの生徒が、授業を集中して取り組み理解を進めていることがわかる。あまり実施できていないグループ学習なども機会をとらえて実施していくなど、より授業を工夫していきたい。
保健体育	後期の12月より選択制授業を導入し、グループ学習等の場面を設定している。それにより、班員との協力及び学習意欲の向上につながっている。技能・体力の向上を含めた基礎基本の習得、同時にルールの学習をしながら、2年生からのより主体的な学びへとつなげていきたい。
音楽Ⅰ	後期も、多くの生徒が授業に集中しており、難易度、進度共に適当であると回答している。グループ学習による活動では、意識や技術も高まってはいるが、編成について工夫が必要であると感じた。これからも生徒個々の能力をさらに高めていけるような授業を展開していきたい。
美術Ⅰ	ほぼ全員の生徒が集中して授業に取り組んでいる。新たな事を学ぶという事ではもう少し難易度をあげても良いかと思う。グループ学習は個人演習が多い美術としては難しいところだが工夫をして考えていきたい。
書道Ⅰ	アクティブ・ラーニングでの協同学習も適度に取り入れ、新しい教育内容を推進できた。新しい教材開発にも取り組み、その結果生徒はより書道に関しての興味関心が高まっている。一層生徒にとって満足感が得られる授業を心がけたい。
コミュニケーション英語Ⅰ	前期同様、多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。進度・難易度とも前期から適切であるとの回答が増えている。一方で、グループ活動への意欲が若干減っている傾向があるため、今後グループ活用の趣旨をしっかりと伝えて上で、効率的な授業を展開していきたい。引き続き、予習・復習の徹底を促していく。
英語表現Ⅰ	前期同様、9割以上の生徒が授業に集中している。前期に比べると、授業へのさらなる関心・意欲が増えている。概ね、授業に満足している生徒が多い。コミュニケーション英語Ⅰと同様、グループ活動への意欲が減っているため、一つ一つの活動の趣旨と目的を明確に伝え、生徒の力になる効果的な活動にしていきたい。また、引き続き自律学習者として、予習・復習の徹底を促していく。
家庭基礎	前期と同様に多くの生徒が授業に集中して真摯に取り組んでいる様子が伺える。今後はまとめとして、グループ学習の時間を増やし、様々な問題解決に向けて的確な判断力が育成できるような授業を展開していきたい。
社会と情報	前期同様に生徒は集中して授業に取り組んでいる。授業を通じてさらに高いレベルでの学びや資格取得、各種大会への参加を目指す生徒も増えてきている。引き続き興味関心が持てるような授業、自ら学ぶ姿勢が持てるような授業の展開を心掛けていきたい。